

分水嶺

衆院選の一大争点に憲法改正が持ち上がってきた。改憲を自民党が公約の柱の一つとしたため、有権者の判断が改憲の動きを左右する。じっくりと各党の

主張を読み解きたい▼焦点の9条改憲で自民党は自衛隊の明記を盛り込んだ。戦争放棄と戦力不保持を定める9条の1項と2項を維持しながら自衛隊の存在を条文に記す加憲案。安倍晋三首相が訴える構想だ▼現憲法は70年間、一言一句変わっていない。その間に社会は変わり、改憲論議は重大な岐路を迎えようとしている。それだけに主権者の私たちが憲法在り方を考えることが必要だ▼きのう、岐阜・九条の会が岐阜市で開くサロン9条例会が300回となった。護憲派のグループとして活動を始めて13年、会場に集う人たちが暮らしの課題を語り合うことで憲法を身近にしている▼今回は具エネスコ協会長の平井花画さんが講師となり、カンボジアで取り組む寺子屋活動を伝えた。「平和の実現には教育が不可欠」。岐阜の若者も共に海を渡り、平和の大切さをかみしめた▼論議で求められるのは憲法の基本理念を充実させ、より良きものに磨き上げていく方策であり、肝心なのは戦争の過ちを繰り返さないことだ。ムードや雰囲気では論じてはいけない。